

Since  
1965-2015

株式会社 エンゼルパーク

50

表紙題字は、書家・樽本樹邨先生にご揮毫いただきました

エンゼルパーク五十年史

<http://www.angelpark.co.jp/>

1965-2015

Since  
1965-2015

エンゼルパーク五十年史

この記念とともに



## 会社設立主旨

快適で豊かな生活の場を形成するよう  
都市の再開発が展開されているとき  
当名古屋市経済の中心地に  
都市計画による公共駐車場を建設  
その事業を行い駐車難の緩和と  
交通の円滑化に寄与するとともに  
調和のとれた美しい都市建設を  
目標に設立する

1965年(昭和40)1月

## 経営理念

安全 安心で 親切なサービスに努め  
お客様のご期待に応えます

環境と人権に配慮し 信頼される企業として  
地域社会の発展に貢献します

仕事と生活の調和を図り 社名に恥じない  
働きがいのある職場を創ります

2009年(平成21)2月

# 久屋大通周辺の移り変わり



明倫会編集「続・続 名古屋碁盤割り」(2009年(平成21)5月刊行・伊藤宗太郎氏発行)より、  
1929年(昭和4)4月ころの住宅地図(故 松山昌平氏、伊藤宗太郎氏 所蔵)を使用

昭和4年  
**1929**  
年ころ

名古屋は1610年の名古屋城築城着手とともに形成された城下町。お城の南に碁盤の目のように並ぶ街区は、400年以上を経た今も継承されています。現在の久屋大通は鍛冶屋町通と久屋町通(ともに旧名)の間に位置する街区に作られ、ここには戦前、民家やビル、小学校や寺院などがありました。  
現在のおおよその位置として ①エンゼルパーク駐車場南館 ②エンゼルパーク駐車場北館 ③矢場公園駐車場



この地図は名古屋市発行の都市計画基本図(1958年(昭和33)測図)を使用

昭和33年  
**1958** 年

幅員約100mの久屋大通が完成したのは1963年(昭和38)。終戦まもない1945年(昭和20)10月、後に市の助役に就任した田淵寿郎氏が中心となり、戦災復興のための都市計画を立案。火災などの災害を防止し避難所にもなるとして、多くの市民の協力のもと18年かけて事業が進められました。なお、戦後整備された現在の矢場公園は、地図では南久屋公園と明記されています。  
現在のおおよその位置として ①エンゼルパーク駐車場南館 ②エンゼルパーク駐車場北館 ③矢場公園駐車場

**上** 1960年(昭和35)  
整備中の久屋大通(通称100メートル道路)

写真手前(南側)は1954年(昭和29)完成の、森永製菓㈱をスポンサーとする「エンゼル球場」

その奥(北側)は公園「エンゼルパーク」  
※写真提供:名古屋タイムズアーカイブス委員会

左下 1964年(昭和39)ごろ

起工前の矢場公園全景(東北方向より望む)

写真右方向は中央高校(現 タディアパーク)、周辺の路上駐車が問題化していた

左奥右子方向は中大高校(現 ノリカワハーフ)、向辺の路上駐車が問題化していた  
左 1958年(昭和33)

右下 1958年(昭和33)  
現在のモントリオール、ケベック

現在のエシセルパーク駐車場北館の地上  
※写真提供:名古屋タクシーグループ(株)企画部

※写真提供:名古屋タイムスアーカイブス委員会



The background image is a wide-angle, black and white aerial photograph of Angel Park. The park features a large, open grassy area with several paved paths and small structures, possibly picnic tables or kiosks. In the foreground, there's a prominent wire fence and some low-lying vegetation. The overall scene is one of a well-maintained urban park.



時代と地域の声に応えるため、  
幾多の困難を越え、長い道のりを経て誕生。

モータリゼーションが急速に進んだ昭和30年代。都市部を中心に路上駐車が急増し、駐車施設の整備が緊急の課題として浮上してきました。そこで国は、1957年（昭和32）に「駐車場法」を制定。これを受けて愛知県は、県内の駐車場整備地区を指定。名古屋市は1959年（昭和34）に都市計画に基づく公共駐車場の設置を企画し、1961年（昭和36）には官民の協力により、駐車場建設に数多くの試案が企画され、推進へと動き始めました。

当時の名古屋・栄地区も、金融会社や証券会社、商社、自動車関係の営業所などに加え、松坂屋、丸栄、オリエンタル中村の3つの百貨店が集合。路上駐車が日に日に数を増し、住民の生活を脅かす大きな問題になっていました。

こうした状況に対応するため、1962年（昭和37）8月、矢場町域・地元町内会の有志が発起人となり、矢場公園地下駐車場建設準備事務所を開設。建設実現に向けての計画書や設計図などを作成して、名古屋市および愛知県との交渉を開始しました。また、名古屋市の先導で東京都庁を訪問して公共駐車場建設の手ほどきを受けるなどし、1963年（昭和38）1月、「地域社会の交通の円滑化をはかる」ことを目的にエンゼルパーク駐車場と矢場公園駐車場を建設するため、株式会社名古屋地下駐車場の設立準備委員会を発足。東海道新幹線が未開通の当時、建設省や大蔵省へ幾度とななく足を運び、建設承認の請願・陳情を重ねました。

しかし、道路下の駐車場としては地方都市初の計画であつたため、途中で計画案の変更を求められたり、事案が何度も保留になつたり、巨額な資金融資についても苦慮したりと、承認までの道のりは難航を極め、役員たちの東奔西走は約2年間にわたり続きました。

関係官庁から大方の了承を得ることができたのは1964年(昭和39)12月。翌年1月、「株式会社名古屋地下駐車場(現 株式会社エンゼルパーク)」設立の運びとなりました。

## 駐車場の建設具体化 市の計画

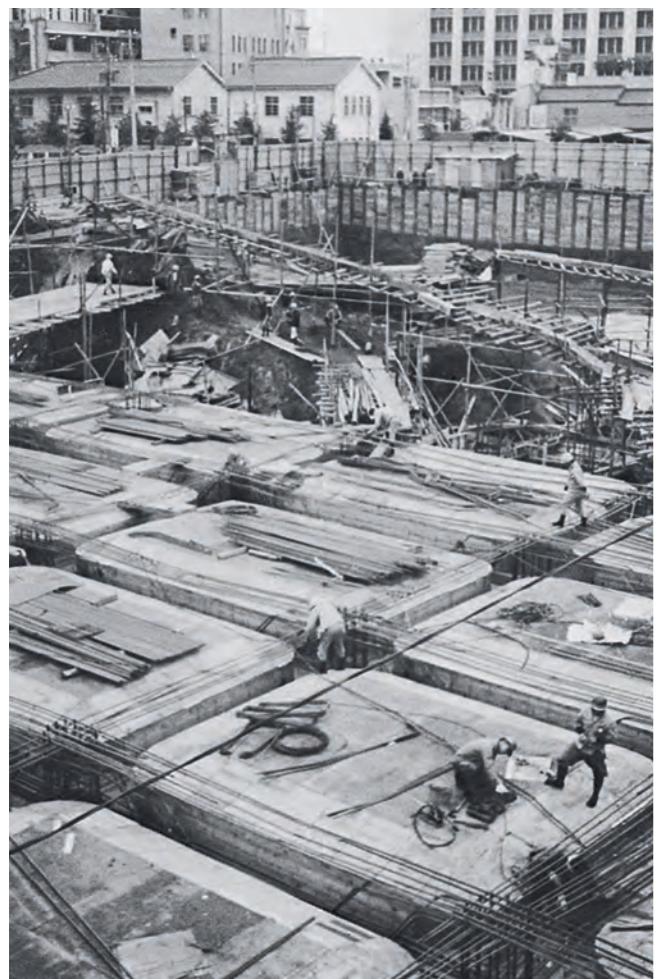
中心部など25カ所に

200-800台を収容

1963年(昭和38)10月30日 中部日本新聞(現 中日新聞)

# 矢場公園駐車場 開設

1966年(昭和41)4月



1965年(昭和40)11月 矢場公園駐車場型枠・梁配筋工事風景



1965年(昭和40)8月30日  
矢場公園駐車場の地鎮祭  
(株)名古屋地下駐車場(現(株)エンゼルパーク)  
初代取締役社長の杉山光雄による鍵入れ式

矢場公園駐車場は1965年(昭和40)7月に工事着工。事前に周辺住民の方々への説明会を開いてご理解とご協力を求め、1966年(昭和41)4月20日、名古屋市で2番目の都市計画駐車場として開業しました(地下1層、延面積約4,909m<sup>2</sup>、収容台数141台)。駐車場の上は戦後に整備された児童公園のため、当時の最高水準の技術を用いて排気・騒音防止設備を設計・設置。公園としての機能と周辺の環境に配慮した駐車場として現在に引き継がれています。

1965年(昭和40)7月3日  
中部経済新聞

中旬から着工へ

地下式矢場、鍛冶屋町に

来年三月末には完成



1974年(昭和49)ころ 矢場公園駐車場場内

上 1966年(昭和41)8月  
(株)豊トヨペットサービス修理場を開設  
(1971年(昭和46)1月閉鎖)左 1966年(昭和41)4月  
営業開始直後の矢場公園駐車場  
オープン告知の広告塔とアドバリーン  
従業員も路上駐車の車のワイパーに  
ビラを挟んで告知名古屋市&栄地区  
あのころNEWS1964年(昭和39)9月 関ヶ原～一宮開通式  
写真提供:中日本高速道路株式会社**名神高速道路が全線開通**

1965年(昭和40)7月  
愛知県の小牧ICを起点として兵庫県の西宮ICに至る、日本最初の高速道路「名神高速道路」。1965年(昭和40)に一宮～小牧間が完成し、全線(189.3km)が開通しました。

足柄SA付近 写真提供:中日本高速道路株式会社  
**東名高速道路が全線開通**

1969年(昭和44)5月  
東京ICから小牧ICに至る、日本の大動脈「東名高速道路」。1962年(昭和37)に工事が始まり、1969年(昭和44)の大井松田～御殿場間開通により、全線(346.7km)が開通しました。



写真提供:名古屋市広報課

**南大津通「なごや日曜遊歩道」初開催**

1970年(昭和45)9月  
南大津通の栄交差点～矢場町交差点間(約700m)で開催され、1日で40万人を超える人出がありました。1984年(昭和59)を最後に中断ましたが、2011年(平成23)9月に「南大津通歩行者天国」として復活しました。



1965年(昭和40)12月 矢場公園駐車場工事中全景

# エンゼルパーク 駐車場 南館開設

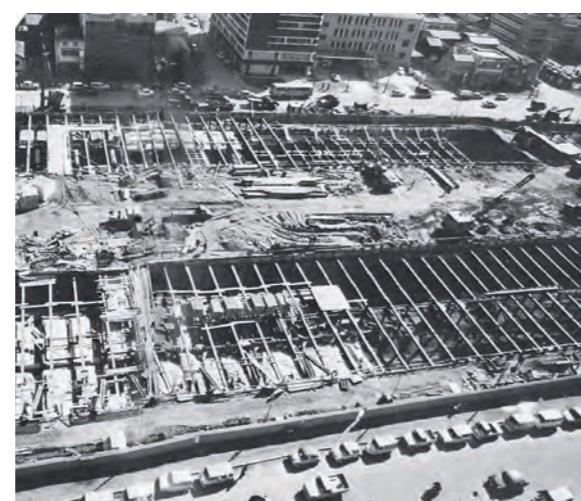
1966年(昭和41)10月

エンゼルパーク駐車場は地下鉄の上に構造物を作るため、その当時の法律下では、国からの特許を得るのに非常に難航しました。しかし、名古屋市が本省と交渉して諸問題を解決、1965年(昭和40)10月に建設工事がスタートしました。工事着工以前のエンゼルパーク(現 久屋広場)は、地下鉄工事で掘り出された土がそのまま埋め戻されずに盛り積まれている状態。また、工事途中には、広場の樹木の移植に苦労したり、集中豪雨に見舞われたりしましたが、1966年(昭和41)10月12日に第1期工事部分(収容台数294台)が、翌年5月18日に第2期工事部分(収容台数101台)が営業を開始しました。合計収容台数395台、床面積は合計15,713m<sup>2</sup>になりました。その規模とともに、入口から地下2階へストレートに誘導する動線、ゆったりとした車室、充実した設備も注目を集めました。なお、当時は、入口と出口を南・北に1カ所ずつ設けていました。当時はまだ路上駐車が認められていた時代。また、市営駐車場との料金の差に不満をもつ人もいて、開業後数年間は決して順調とはいえない状況でした。

1966年(昭和41)5月 エンゼルパーク駐車場南館工事全景  
地下鉄名城線の上と久屋大通公園の下を利用した当時珍しい地下2層構造



1965年(昭和40)11月  
エンゼルパーク駐車場南館地鎮祭の約1カ月後、掘削工事中



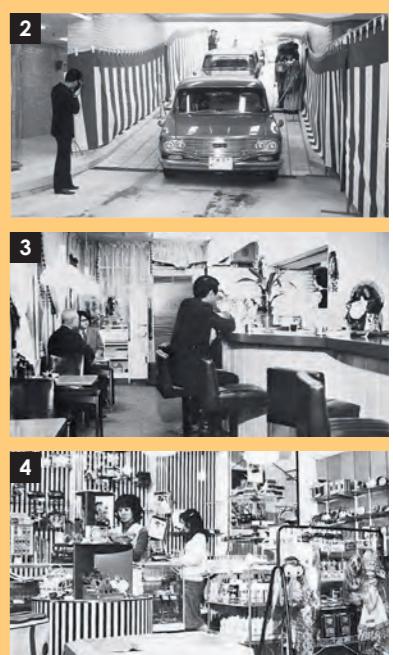
1966年(昭和41)4月  
エンゼルパーク駐車場南館天井工事現場



1967年(昭和42) 「駐車場法」をもとに、名古屋市が条例で定めた当時の車室面積基準は3台で34.5m<sup>2</sup>以上、エンゼルパーク駐車場南館は欧米車など大型車もゆったり停められる平均39.7m<sup>2</sup>となりました



- 1 1967年(昭和42)10月 地下鉄「矢場町」駅との連絡通路開通
- 2 1966年(昭和41)10月 エンゼルパーク駐車場南館入車式
- 3 地下1階喫茶室(現 休憩室)
- 4 カーアクセサリー売店



1968年(昭和43)4月24日 每日新聞  
新しい都市への実験

尾張名古屋は道でもつ

# エンゼルパーク 駐車場 北館増築

1972年(昭和47)3月

エンゼルパーク駐車場では1971年(昭和46)に北館増築工事に着手。1年余りにおよぶ難工事を経て、翌年3月3日に営業を開始しました。

南北約285m、東西約60m、床面積は南館と合わせて約3万2,425㎡。駐車台数も475台増の合計870台となり、現在もなお名古屋市内の地下駐車場としては最大の規模。効率よく入出車できるよう、入口2カ所、出口4カ所と、出口の数を入口の2倍にしました。

また、換気については、地形の高低差を利用して、外気を東の側壁から場内に取り込み、西の側壁の間の排気ダストから場外へ排出する手法を採用。これにより、換気塔を全廃。地上部の公園としての美観を損ねることなく省エネルギーも実現するという、当時の地下駐車場では画期的な設計となりました。



# 1971年(昭和46)6月 ンゼルパーク駐車場北館増築工事全景



1972年(昭和47)2月  
JEM式駐車料金自動計算機



1974年(昭和49)5月  
文字盤による料金早見時計を発案

1972年(昭和47)6月

エンゼルパーク駐車場北館地上部のエンゼルパーク  
地上部に植樹ができるよう、駐車場の構造物の上に1.5mの土を盛り、地上部のエンゼルパーク（現 エンゼル広場）には、噴水、池、水が階段状に流れるカスケードを設置し、名古屋市へ寄贈しました



1972年(昭和47)6月  
エンゼルパーク開場テープカット



着実に前進。  
地域とともに  
お客様のニーズに  
お応えしながら、  
一緒に歩んでいきたい。

日本経済が安定成長の道を歩んでいた1970年代中期～1980年代。このころのエンゼルパークは、会社設立の主旨に基づいて一歩一歩着実に前進していた時期にあたります。1972年(昭和47)には、エンゼルパーク駐車場入口に自動発券機を新設してスムーズな入車を実現。1980年(昭和55)5月には、開業から13年7ヶ月を経たエンゼルパーク駐車場の入車台数が1,000万台を突破。1982年(昭和57)には、場内の柱を色分けして、駐車位置をわかりやすくしました。

周辺地域では、1983年(昭和58)に久屋大通地区が都市景観整備モデル地区に指定され、“栄ミナミ”エリアでは大型ファッショビルが続々とオープン。1989年(平成元)には名古屋市が、「デザイン都市宣言」を発表しました。

2002年(平成14)4月、エンゼルパークは、社名を(株)名古屋地下駐車場から現在の(株)エンゼルパークに改称し、設備面・サービス面での新たな飛躍をめざしました。



- 1 1981年(昭和56)6月 JEM180型自動発券機・料金精算機を導入 エンゼルパーク駐車場南入口・東入口に、当時画期的なバーコード方式の駐車券自動発券機とゲートバーを設置しました(入口は無人対応が可能、出口は有人対応)
- 2 1982年(昭和57)2月 エンゼルパーク駐車場 駐車位置をわかりやすくするため、柱を色分けして番号を表示
- 3 1985年(昭和60)1月 会社設立20周年 記念品を先着1万6,000名様に進呈

- 4 1980年(昭和55)1月 (株)エンゼルパーク定年退職者の会「エンゼル会」設立
- 5 1982年(昭和57)2月 4車線の久屋大通と、エンゼルパーク駐車場南入口に入車待ちする車
- 6 1982年(昭和57)6月 当社の技術課長 伊藤義明が、全日本駐車協会の創立25周年記念優良従業員として表彰されました



- 1 1993年(平成5)8月 オムロン(株)の新自動発券機・駐車料金精算システムを導入 写真は出口の料金計算機
- 2 2000年(平成12)12月 色分けによるフロア案内 南館地下1階はピンク 南館地下2階はブルー 北館地下1階はイエロー 北館地下2階はグリーン(松坂屋連絡口階段踊り場)

- 3 2002年(平成14)6月 エンゼルパーク駐車場に 防犯カメラ45台を設置
- 4 2004年(平成16)3月 エンゼルパーク駐車場全館の 車止め取替え工事完了
- 5 2004年(平成16)3月 パック駐車を助ける反射シールの 取付け完了



2002年(平成14)1月3日  
北館出口スロープの除雪作業をするエンゼルパーク社員  
(新年の大雪、名古屋市内の積雪量17cm)

## 名古屋市&栄地区 あのころNEWS



松坂屋出展「ガウディの城」  
写真提供:(株)大丸松坂屋百貨店

### 世界デザイン博覧会開幕

1989年(平成元)7月  
名古屋市制100周年の記念事業として、「ひと・夢・デザイン—都市が奏でるシンフォニー」をテーマに開催されました。名古屋城・白鳥・名古屋港の3会場合わせて約1,500万人が来場。



写真提供:(株)大丸松坂屋百貨店

### 栄南が新たな情報発信基地に

1989年～  
1989年(平成元)に「名古屋パルコ」、1991年(平成3)に「松坂屋南館」、1996年(平成8)に「ナディアパーク」がオープン。その後、海外のブランドショップなどが数多く出店し、“栄ミナミ”と呼ばれる広小路通りの南側エリアが、ファッショや文化の情報発信基地として注目されるようになりました。



写真提供:公益財団法人にっぽんど真ん中祭り文化財団

### 第1回「にっぽんど真ん中祭り」開催

1999年(平成11)8月  
「踊りで感動が伝えられるような祭りを」という名古屋の学生たちの想いから生まれた“どまつり”。初回は26チームが参加、第16回となる2014年(平成26)は国内外から209チームが参加。2010年(平成22)には「ギネス世界記録™“世界一の総踊り”」に認定されました。

# 先進の設備・システムで、 より利用しやすい駐車場に

開業から約30年を経て、エンゼルパークは、より快適にご利用いただけるよう、場内外の改修やリフレッシュ工事を実施しました。

設備面では、2001年(平成13)に松坂屋連絡口にエスカレーターを新設、翌年には全国初となる百貨店とのPOSシステム連動駐車サービスを導入、車番自動認識システムにより出車時間の大幅な短縮を実現。

これらが評価され、2004年(平成16)に「第1回日本ベストパーキング賞」特別賞を受賞しました。



2001年(平成13)6月 松坂屋本館地下連絡通路口にエスカレーターを新設



② 駐車券に印字されたバーコードを  
POSレジで読み取る、  
百貨店との  
POSシステム  
連動駐車  
サービス



2002年(平成14)6月  
入車・出車数、在車数などを  
管理する場内監視盤を設置



2001年(平成13)6月 松坂屋本館地下連絡通路口にエスカレーターを新設

## 第1回 日本ベストパーキング賞の 特別賞を受賞

エンゼルパーク駐車場は、2004年(平成16)3月、駐車場をハードとソフトの両面から評価し、優良な駐車場および関連する活動を表彰する、「第1回日本ベストパーキング賞」の特別賞を受賞しました。

これは、日本初のPOSシステム連動駐車サービスの導入、車番自動認識システムによる出車時間の大幅な短縮、明るい場内と明確な歩道区分表示などが評価されたもので、全国25都道府県・103件の中から選ばれました。



主催：財団法人 駐車場整備推進機構(JPO)  
目的：駐車場あるいは駐車に関する国民の関心  
を高め、駐車場の質的向上および交通円  
滑化につなげる。  
選考：国内有識者で構成される選考委員会にて  
選考。



平成16年

2004

# ゲートウェイ(玄関口)に。 栄地区の 徹底した安全対策と 親切なサービスで、

昭和から平成への半世紀、社会環境が急速に変化した時代にあって、エンゼルパーク駐車場は、栄地区最大の駐車台数と利便性を追求した設備、きめ細やかなサービスで着実に成長し続けてきました。

2014年(平成26)2月には、矢場公園駐車場と合わせて累計駐車台数5,000万台を突破。また、時代のニーズや季節に合わせた多彩なイベントを開催し、駐車場としては珍しい、楽しさという付加価値も生み出しました。

2015年(平成27)、会社設立50周年を迎えた㈱エンゼルパークは、今後も「栄地区のゲートウェイ」として、お客様と地域と社会の期待にお応えしていきます。



■ 2010年(平成22)1月  
マスコットキャラクター「エンゼルちゃん」誕生  
愛らしい天使の微笑みで、お客様をお迎えします

■ 2014年(平成26)10月 エンゼルパーク駐車場南入口



2



3



4  
■ 2014年(平成26)10月  
矢場公園駐車場歩行者出入り口

5  
■ 2014年(平成26)10月  
矢場公園駐車場入口



# 明るく広く、利用しやすい、お客様にやさしい駐車場

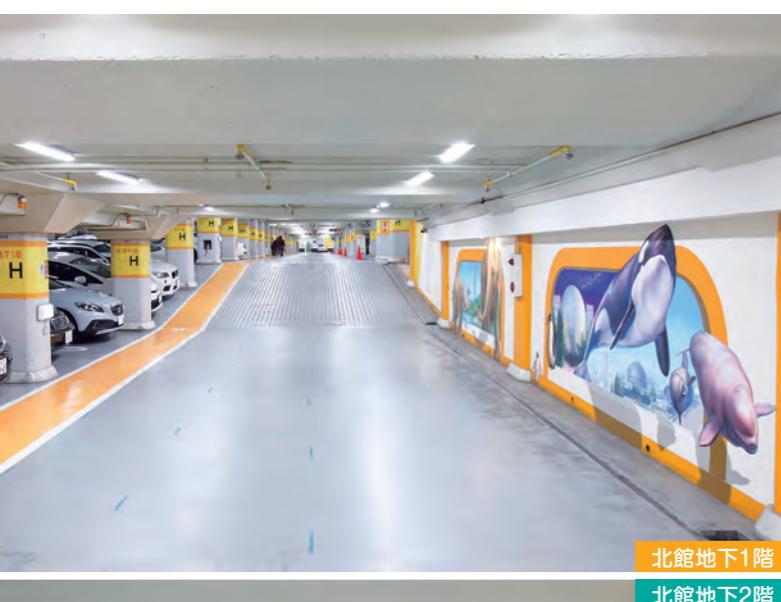
バリアフリーの必要性の高まりに応えて、エンゼルパーク駐車場では、2009年（平成21）にエレベーターや多目的化粧室などを新設。2011年（平成23）には車いす用車室を計5台分に増設、2013年（平成25）には歩行者・車いす用のスロープ出入口を設置しました。

また、より快適にご利用いただける駐車場をめざして、エンゼルパーク駐車場では2014年（平成26）、矢場公園駐車場では2015年（平成27）に、全床面の防水防滑塗装を実施しました。



2015年（平成27）2月 矢場公園駐車場の床面防水防滑塗装が完了

2014年（平成26）4月 全館の床面の防水防滑塗装が完了  
フロア別・南北のエリア別に、4色に色分けされたエンゼルパーク駐車場内  
(北館地下1階はイエロー、北館地下2階はグリーン、南館地下1階はピンク、南館地下2階はブルー)



北館地下1階  
北館地下2階



南館地下1階  
南館地下2階



2009年（平成21）2月  
松坂屋本館地下連絡通路口に  
お客様用エレベーターを設置



2013年（平成25）5月 エンゼルパーク駐車場南館に歩行者用スロープを設置



2014年（平成26）11月 エンゼルパーク駐車場北館をLED照明に変更



- 1 2009年（平成21）2月  
エンゼルパーク駐車場に多目的トイレを設置
- 2 2010年（平成22）8月  
エンゼルパーク駐車場地下2階に喫茶「カフェファゼンダ」がオープン
- 3 2015年（平成27）1月  
エンゼルパーク駐車場地下1階休憩室  
大型テレビやウイルス除菌付き空気清浄機を設置

## 名古屋市&栄地区 あのころNEWS



写真：「2005年日本国際博覧会公式記録」より

### 日本国際博覧会（愛・地球博）開幕

2005年（平成17）3月  
21世紀初の万博が、“自然の叡智”をテーマに愛知県で開催されました。会場は長久手町（現 長久手市）と瀬戸市の2会場、121カ国・4国際機関が参加し、会期中の185日間に約2,205万人が来場しました。



写真提供：栄ミナミ地域活性化協議会

### 第1回「栄ミナミ音楽祭」開催

2007年（平成19）5月  
「人と地域の活性化」と“新しい文化の創造”をテーマとする、名古屋初の音楽中心ピッケルイベント「栄ミナミ音楽祭」。矢場公園とナディアパークをメイン会場に、2014年（平成26）現在、300を超えるアーティストが参加して開催されています。



©N.G.E

### 久屋大通公園・光の広場での優勝祝賀イベント風景

### グランパス＆ドラゴンズのダブル優勝

2010年（平成22）10月・11月  
11月20日、名古屋グランパスがJリーグ発足後18年目にして初優勝。また、10月1日には中日ドラゴンズが4年ぶり8度目のリーグ優勝を決め、名古屋初のダブル優勝に市民も街も大いに盛りあがりました。

# 充実の設備・機能で、 安全、安心、快適性を追求

最も重要な安全対策について、エンゼルパークでは2013年(平成25)、高画質防犯カメラを増設し、ドライブレコーダーで全車室を監視・保守。また、耐震補強工事を実施して、安全性の強化に取り組みました。さらに、駐車料金精算システム機器を更新して、よりスムーズな出車を実現。デジタル時代に対応して、モバイルナビ機能の向上を図りました。



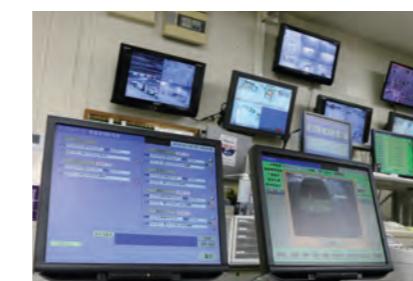
2013年(平成25)2月 エンゼルパーク駐車場南入口  
DSRC(専用狭域通信)を用いた車両認識システム・バイク用発券システムなど新たな入出車管理システムを採用し、駐車料金精算システム機器をリニューアルしました



2009年(平成21)5月  
休憩室横にAEDを設置



2010年(平成22)5月  
英語、中国語、韓国語が併記された  
場内壁面の案内表示



2015年(平成27)1月  
エンゼルパーク管理室内  
矢場公園駐車場を含む出入全車両の管理をはじめ、防犯カメラやPOSシステム連動駐車サービスなどを管理



❶ 2013年(平成25)2月  
DSRC(専用狭域通信)を用いた車両認識システムを導入  
ETC車載器の固有番号の読み取りとナンバーを読み取る車番認識システムの併用により100%に近い車の認識が可能になりました

❷ 2013年(平成25)2月  
エンゼルパーク駐車場内に高画質デジタル防犯カメラ64台を増設、合計147台

❸ 2013年(平成25)2月・11月  
各車室にドライブレコーダーを新設(エンゼルパーク駐車場268台、矢場公園駐車場48台)



2013年(平成25)8月  
場内の空気の淀みを解消するエアーバランスファンを設置、特に夏の快適性が向上しました



2013年(平成25)11月 耐震補強工事が完了  
2014年(平成26)2月 補強壁にはトリックアートを描画

❶ 2010年(平成22)6月  
無料でご利用いただける、EV車(電気自動車)、PHV車(プラグインハイブリッド)用充電スタンド2台分をエンゼルパーク駐車場南館に新設  
2014年(平成26)5月にエンゼルパーク駐車場北館に2台分増設、矢場公園駐車場に1台分新設

❷ 2010年(平成22)6月  
バイク専用駐車スペース5台分を新設  
2013年(平成25)2月に6台分増設し、合計11台

❸ 2013年(平成25)3月  
公式ホームページをリニューアルするとともにモバイル対応を強化、満車・空車情報やGPSナビ機能なども利用可能になりました

❹ 2014年(平成26)2月  
場内の壁面8カ所、柱7カ所に、飛び出すアート「トリックアート」を描画



## 愛知県・中警察署より 「防犯モデルパーキング」に認定

2012年(平成24)11月、エンゼルパーク駐車場は、犯罪の防止に配慮した構造・設備などを有する「防犯モデルパーキング」の認定を受けました。



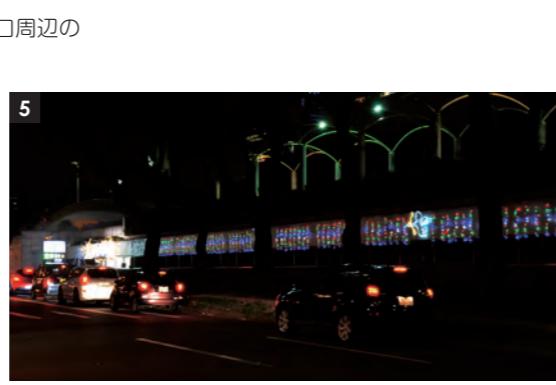
# お客様に愛され、信頼される駐車場に

節分、母の日、父の日、クリスマスなど、エンゼルパークでは、季節に合わせたイベントを多数開催しています。

また、歩行者出入口に無料貸し出し傘「サカエカサ」を配備したり、たぬきの置物や顔出し看板を設置したり、柱と壁にはトリックアートを描画。安全・安心・快適とともに、楽しさや親しみやすさ、わくわく感も提供できる、おもてなしの精神が息づく駐車場をめざしています。



- 1 2009年(平成21)12月 クリスマスイベント開催
- 2 2010年(平成22)8月 お客様お出迎え用の「信楽焼の丸八たぬき」を出入口に設置(写真は2013年(平成25)10月)
- 3 2012年(平成24)6月 「父の日」企画として川柳を募集 507句が寄せられ、NHKやTBSテレビなどで紹介されました
- 4 2012年(平成24)3月 三英傑や名古屋観光・テレビ塔などの「顔出し看板」を休憩室横に設置
- 5 2014年(平成26)1月 エンゼルパーク駐車場東入口周辺のイルミネーション



2011年(平成23)8月  
「仙台七夕まつり」へ、お客様からの被災地応援メッセージ短冊と折り鶴を現地にお届け(NHK仙台放送局でも取りあげられました)



2010年(平成22)3月1日 中部経済新聞



2010年(平成22)2月  
「サカエカサ」の無料貸し出しを開始

# 地域と協調、社会に貢献、新しいエンゼルの時代へ

この街に支えられ、この街とともに歩み続けて50年。エンゼルパークは、今後も栄地区の街づくりのお役に立てるよう、2014年(平成26)に「久屋大通発展会」と「栄ミナミ地域活性化協議会」に参加させていただきました。

また、名古屋市をはじめ行政が進めるさまざまな活動・事業にも積極的に協力し、魅力ある街づくりと地域の活性化に取り組んでいます。



1 2012年(平成24)11月  
愛知県・中警察署との交通安全運動啓発活動が定例化(年4回)

2 毎朝、久屋広場・エンゼル広場の外周と歩道を清掃

3 2014年(平成26)7月  
エンゼル広場北出口横に名古屋市の「スポンサー花壇」を設置



2008年(平成20)12月  
名古屋城本丸御殿建設に寄付



2011年(平成23)4月8日 中部経済新聞

## 名古屋市&栄地区 あのころNEWS



「NAGOYA Aカリナイト 2014」  
写真提供:名古屋テレビ塔株式会社

### 第1回「NAGOYA Aカリナイト」開催

2010年(平成22)11月  
久屋大通公園を中心に、約9万球のLED電球が街を彩る「NAGOYA Aカリナイト」。第5回目となった2014年(平成26)は、ノーベル物理学賞を受賞した野田浩氏(名古屋大学大学院)が点灯式に出席。また、名古屋テレビ塔では、LED1万球以上を使用した新ライトアップ「煌」がスタートしました。



写真提供:名古屋高速道路公社

### 名古屋高速道路が全線開通

2013年(平成25)11月  
1979年(昭和54)の初開通(高辻~大高間)から34年、高速4号東海線の六番北~木場間(3.9km)が開通し、名古屋高速道路の全線(81.2km)が開通しました。



「名古屋オクトーバーフェスト2014」写真提供:東海テレビ  
駐車場地上部の広場・公園で人気イベント初開催

2011年(平成23)7月~10月  
久屋広場・エンゼル広場では、ドイツの伝統的な祭りを再現した「名古屋オクトーバーフェスト」。矢場公園では、地産地消をテーマに名古屋の食の魅力を発信する「名古屋グルメ選手権 NAGO-1(ナゴワソングランプリ)」。この年、名古屋・栄を盛りあげる人気イベントの第1回目が開催されました。

空から見た  
エンゼルパーク駐車場と  
矢場公園駐車場

平成26年 2014



## エンゼルパーク五十年史

2015年4月発行

【発行】株式会社エンゼルパーク  
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目16番10号先 電話052-261-5746

【編集】五十年史編集委員会

【印刷】栄印刷株式会社

【写真・記事提供】  
名古屋市  
中日新聞社  
中部経済新聞社  
毎日新聞社  
名古屋タイムズアーカイブス委員会  
東海テレビ放送株式会社  
株式会社大丸松坂屋百貨店  
名古屋高速道路公社  
中日本高速道路株式会社  
株式会社名古屋グランパスエイト  
名古屋テレビ塔株式会社  
栄ミナミ地域活性化協議会  
公益財団法人にっぽんど真ん中祭り文化財団  
(順不同)

【古地図提供】伊藤宗太郎氏

【撮影協力】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社